

市長と“いまり”を語ろう座談会
～今後の公共施設の在り方について～

令和3年1月～2月

【次第】

1. 開会
2. 挨拶
3. 説明
4. 質疑応答
5. 閉会

伊万里市公共建築物個別施設計画(案)について

<はじめに>

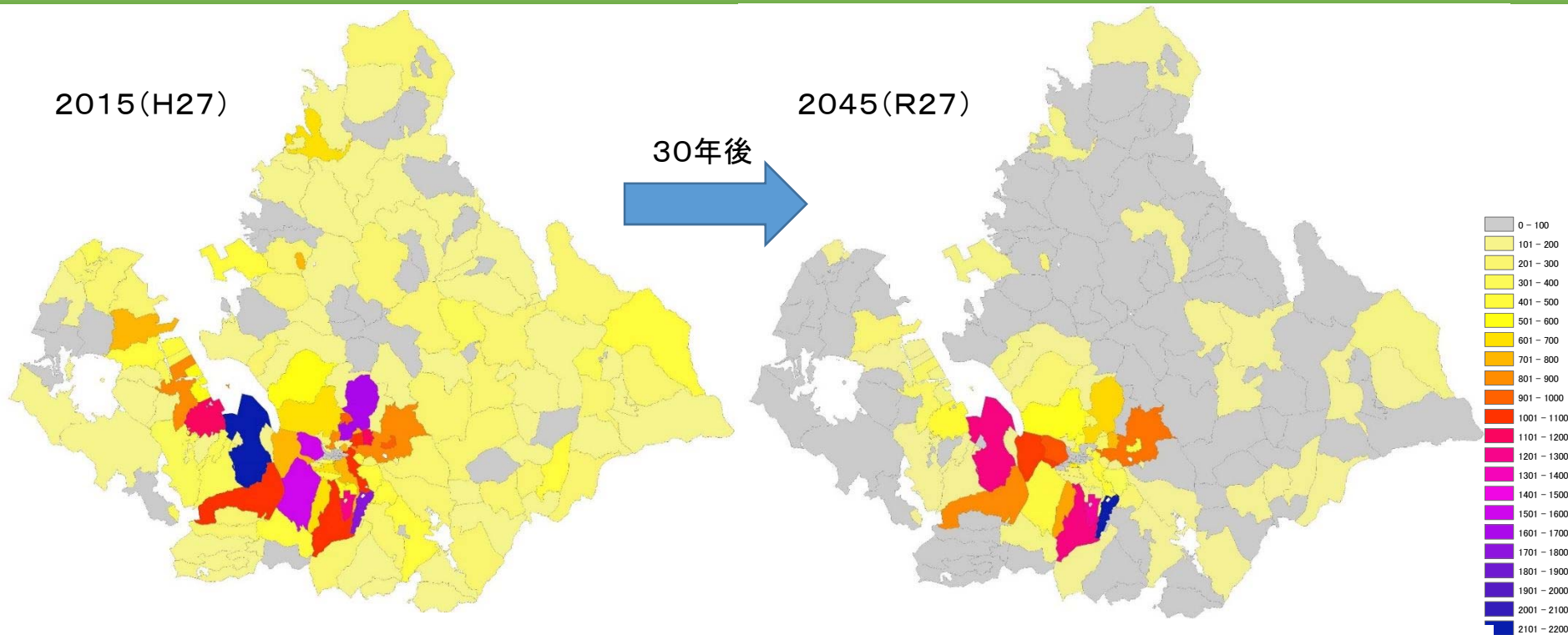
現在、策定中の『伊万里市公共建築物個別施設計画』におきましては、施設の利用状況や健全度を確認した上で、現時点で推計できる人口動向や将来需要を見込みながらできるだけ既存の施設を有効に活用する視点で作成しています。

ただ、人口減少は着実に進行しており、今後その動向は予断を許さないものとなっていることから、今後の人口動向については、かなり厳しく推計しています。

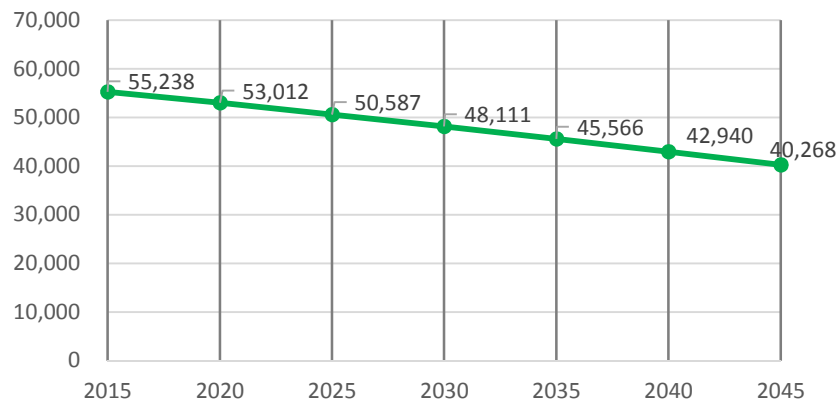
この計画は、公共施設の適正配置として、現時点で考えられる最善の方針として作成していますが、計画作成を以て完了ではなく、今後も人口動向や社会情勢の変化、施設の健全性などの状況を十分に把握しながら、常に最新のデータを用いて、継続的な見直しを図っていくことが重要になると考えております。

なお、施設の約半数を占める小学校・中学校の統廃合については、現在開催されている『伊万里市学校規模適正化協議会』において、教育的視点を踏まえて議論されております。今後連携を図りながら検討を進めることとなりますので、本計画を以て統廃合が決定しているものではありません。

1. 伊万里市の現状と将来像 (人口推計:総人口)

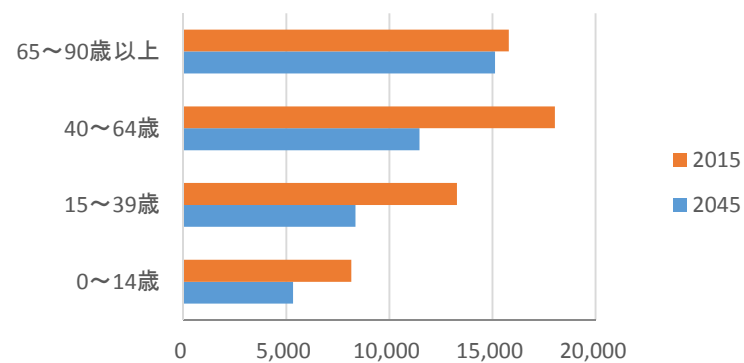


総人口の推移



30年間で 14,970人の減少が見込まれる

年齢層

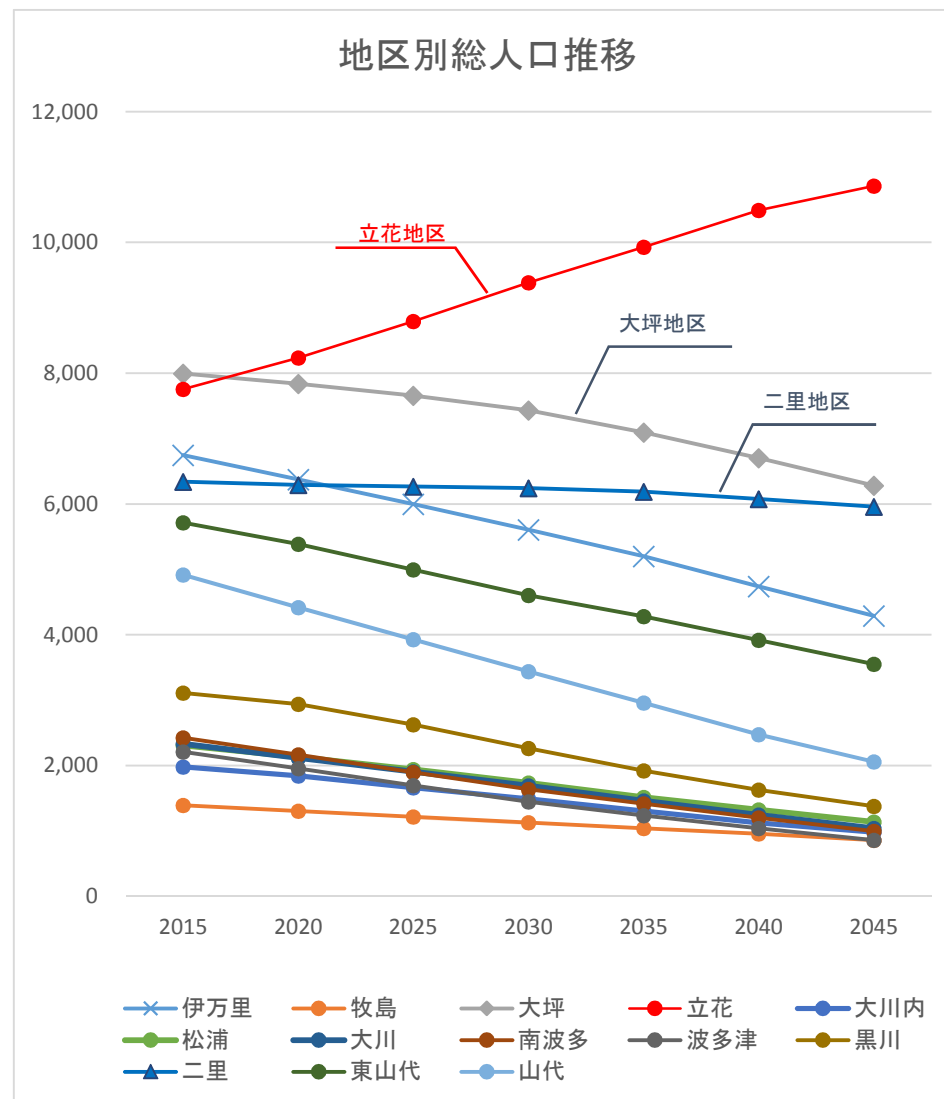


高齢化率 28.6% → 37.6%約3人に1人が65歳以上

1. 伊万里市の現状と将来像 (人口推計:総人口(地区別))

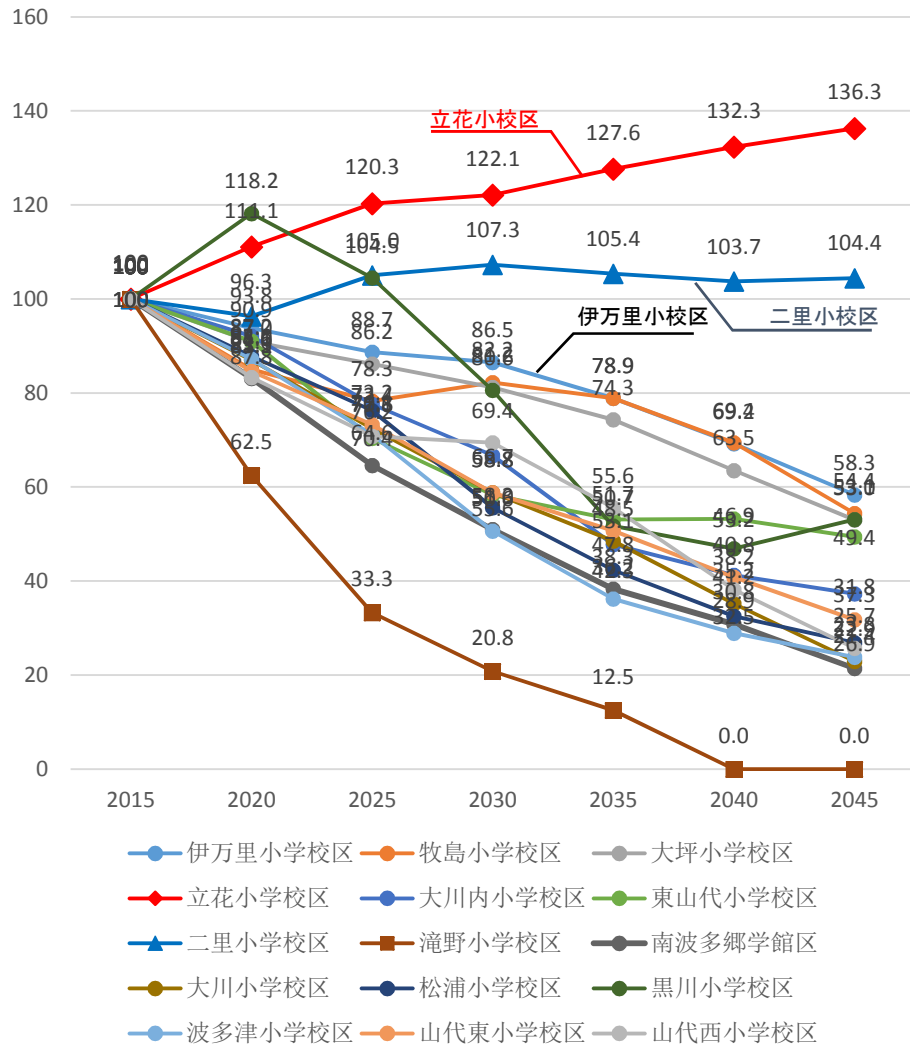
総人口 ※増減率 2045/2015 単位:人

地区名	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	増減率
伊万里	6,748	6,377	6,000	5,605	5,203	4,743	4,290	63.6%
牧島	1,393	1,306	1,215	1,130	1,040	957	860	61.7%
大坪	7,995	7,840	7,656	7,432	7,096	6,704	6,284	78.6%
立花	7,754	8,233	8,792	9,385	9,930	10,491	10,864	140.1%
大川内	1,982	1,843	1,663	1,490	1,304	1,126	983	49.6%
松浦	2,310	2,132	1,943	1,738	1,518	1,325	1,137	49.2%
大川	2,332	2,119	1,906	1,692	1,462	1,249	1,041	44.6%
南波多	2,428	2,166	1,899	1,639	1,418	1,204	999	41.1%
波多津	2,209	1,958	1,696	1,446	1,239	1,039	862	39.0%
黒川	3,113	2,941	2,628	2,267	1,924	1,629	1,377	44.2%
二里	6,342	6,290	6,267	6,245	6,190	6,079	5,961	94.0%
東山代	5,717	5,387	4,994	4,605	4,282	3,920	3,552	62.1%
山代	4,915	4,420	3,928	3,437	2,960	2,474	2,058	41.9%
計	55,238	53,012	50,587	48,111	45,566	42,940	40,268	72.9%

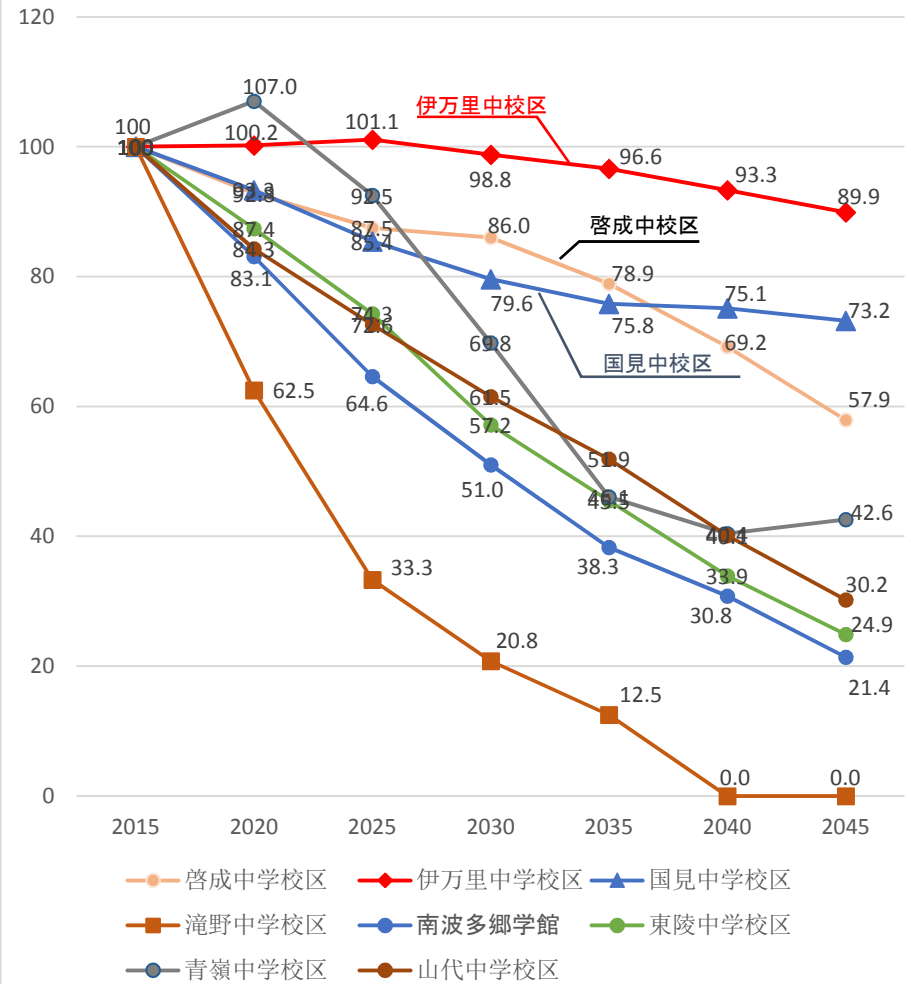


1. 伊万里市の現状と将来像（人口推計：学校区内0～14歳）

小学校区別の人口推移(0～14歳)



中学校区別の人口推移(0～14歳)



※2015(H27)を100とした場合

2. 【第1章】個別施設計画の概要

<背景>

- 老朽化の進行による更新・建替えや改修費用の増大、実施時期が重なることによる事業費の集中が懸念される。
- 少子高齢化の進行による人口構造や社会ニーズの変化への対応が求められている。

<目的>

平成28（2016）年度に「伊万里市公共施設等総合管理計画」を策定し、本市全体の公共施設の総合的な状況を把握、維持管理に関する方針を示した。これに基づく、個別の施設毎の実行計画として、「伊万里市公共建築物個別施設計画」を策定する。

<計画の位置づけ>

普通会計の各公共建築物の具体的な取り組み方針を示した実施計画と位置づける。

〔原則、延床面積200㎡以上を対象、但し、200㎡未満でも重要度が高いものは対象とする〕

<計画期間・計画の更新>

計画期間：2021年から2060年の40年間

（そのうち10年間にける各施設の具体的な対策を示した実施計画を作成する）

※これに伴い、公共施設等総合管理計画の計画期間も2017年から2060年の44年間に延長する

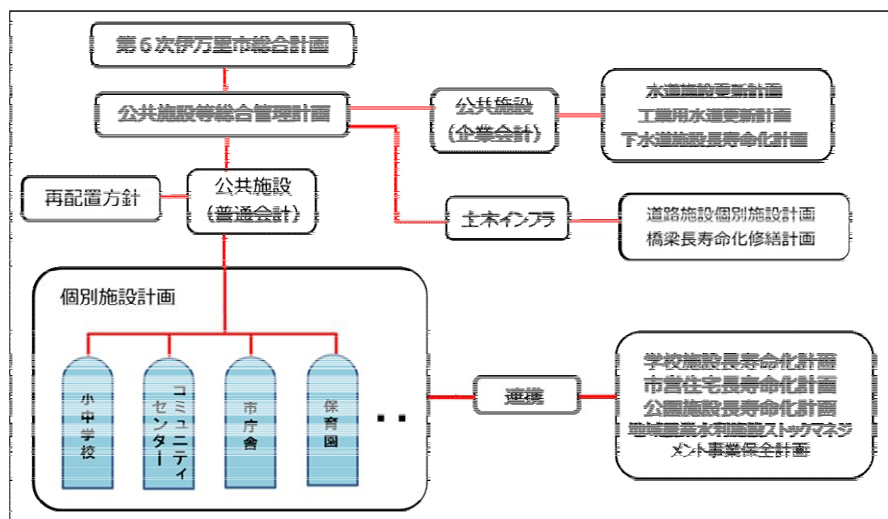


図.1 計画の位置づけ

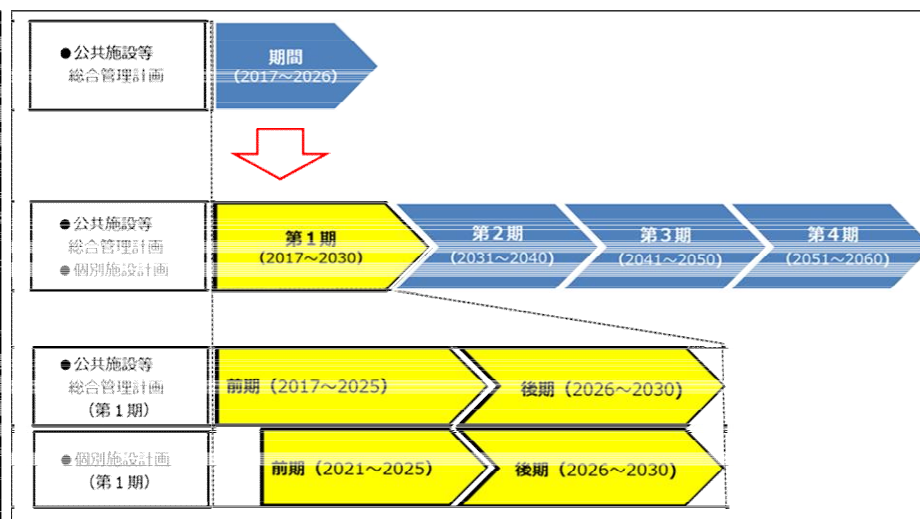


図.2 計画期間・計画の更新

3. 【第2章】伊万里市の公共施設の現状

＜対象建物の施設類型別の状況＞

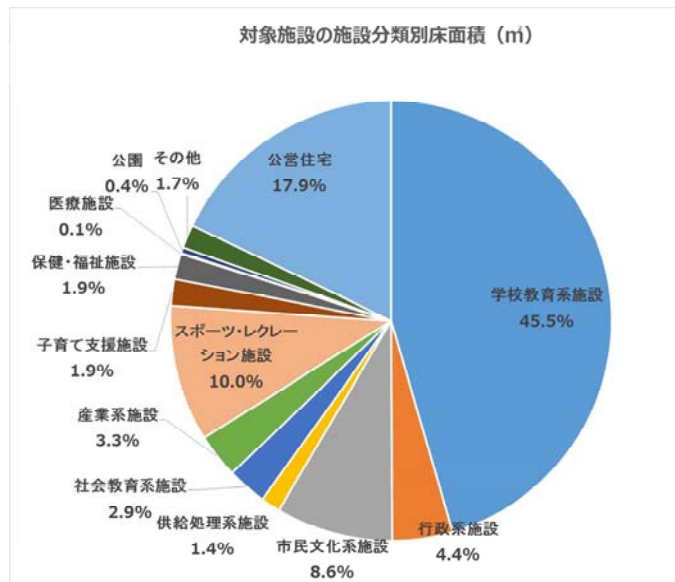
公共建築物（普通会計）

全 体：818棟 延床面積 約24.2万㎡

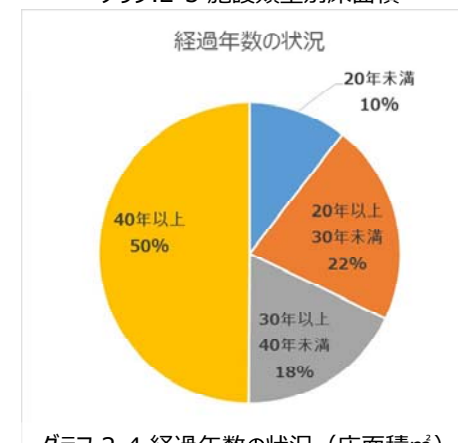
今回対象：335棟 延床面積 約22.5万㎡

（学校教育系施設が約5割を占める）

対象施設	建物数	延床面積 (㎡)	割合 (%)
幼稚園、小学校、中学校 (学校教育系施設)	107	102,430.57	45.5%
市役所 (行政系施設)	2	9,940.64	4.4%
市民センター、市民会館、コミュニティセンター等 (市民文化系施設)	21	19,282.01	8.6%
環境センター、排水機場 (供給処理系施設)	5	3,197.51	1.4%
市民図書館、中央公民館等 (社会教育系施設)	6	6,549.19	2.9%
伊万里・有田伝統産業会館等 (産業系施設)	13	7,356.37	3.3%
体育館等 (スポーツ・レクリエーション施設)	26	22,522.97	10.0%
保育園 (子育て支援施設)	7	4,320.60	1.9%
老人憩いの家、老人福祉センター等 (保健・福祉施設)	8	4,244.84	1.9%
伊万里休日・夜間急患医療センター (医療施設)	1	171.00	0.1%
国見台公園管理事務所等 (公園)	5	943.23	0.4%
旧保健センター等 (その他)	7	3,924.89	1.7%
市営住宅 (公営住宅)	127	40,212.18	17.9%
合 計	335	225,096.00	100.0%



グラフ.2-3 施設類型別床面積



グラフ.2-4 経過年数の状況 (床面積㎡)

4. 【第3章】公共施設マネジメントに関する基本方針、【第4章】施設保全に関する方針

スライド6

<公共施設マネジメントが目指すもの>

- 供給（施設量の最適化）
- 品質（安全・安心・快適性の確保）
- 財務（長期にわたる維持管理、更新費用の確保）

3つの視点から、質と量の最適化に取り組み、良質なサービスを提供することで、持続可能なまちづくりの実現を目指す。

総量縮減が一つの大きなポイント

<施設保全の考え方>

『伊万里市公共建築物再配置方針』に基づき、4つの大きな柱により施設保全を進める。

〔4つの大きな柱〕

- ① 施設の統廃合の推進
- ② 既存施設の利用と複合化
- ③ 廃止・移管（譲渡）の検討
- ④ 同一・類似施設における管理の一元化の検討

<管理方針と整備の方向性>

〔管理の方針〕

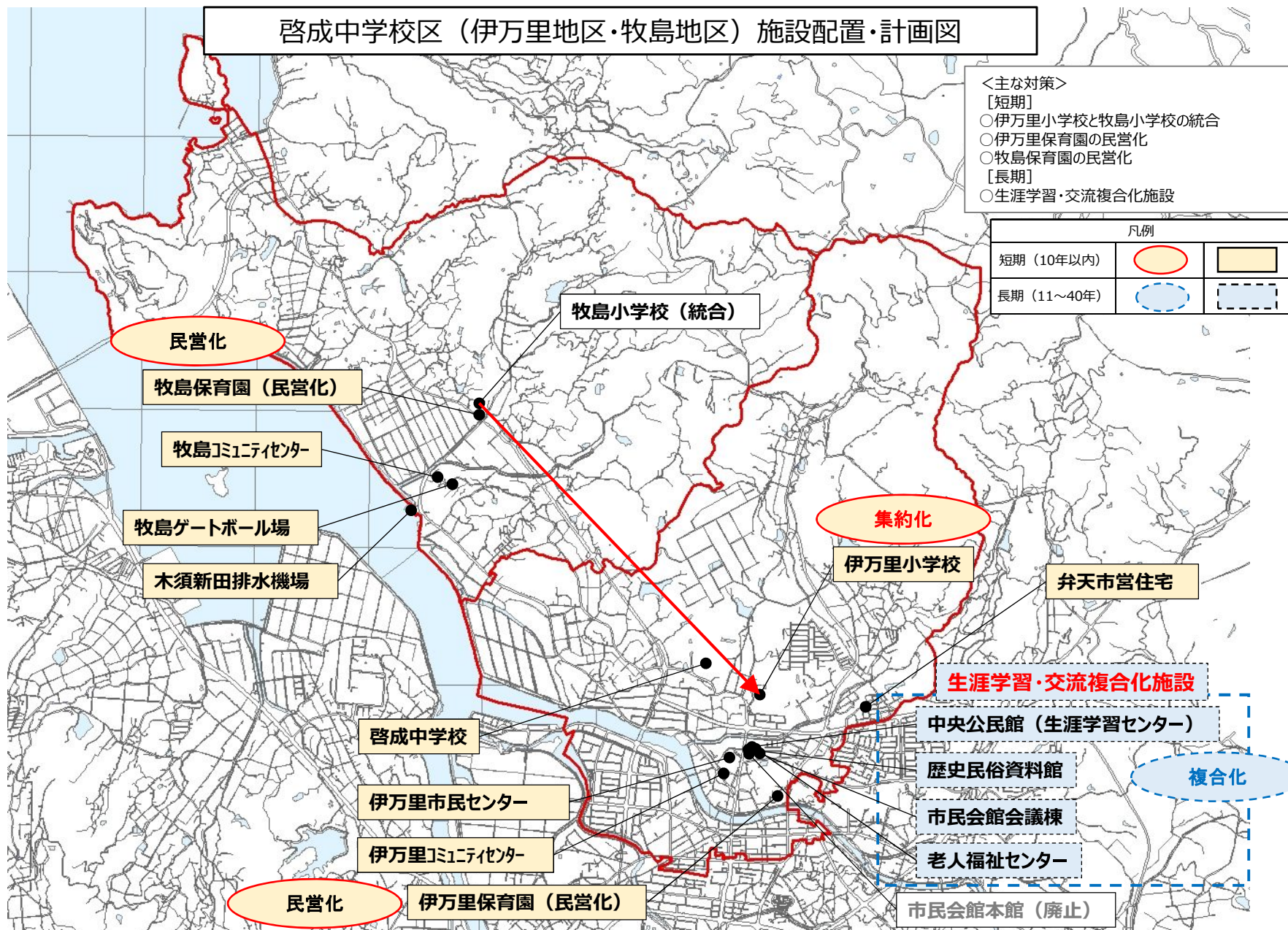
予防保全型管理を基本とする

ただし、施設の健全度、重要度、ライフサイクルコスト等により対象施設を厳選することとし、長寿命化の対象でない施設については、事後保全型管理とする。

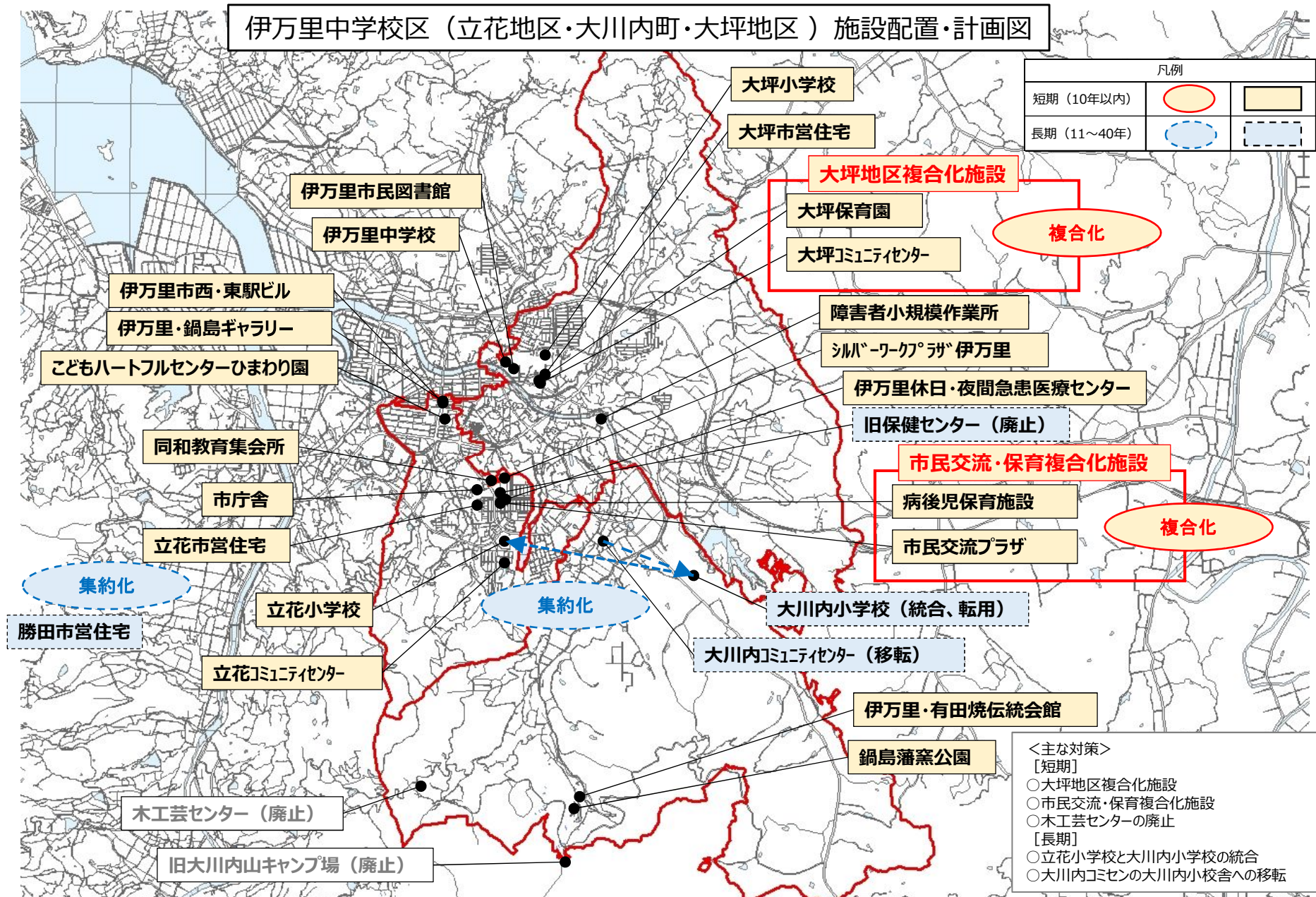
〔整備の方向性〕

長寿命化を基本とし、複合化や集約化などの取り組み方法を用いる

事後保全型管理の場合、維持修繕、予防保全型管理の場合は、長寿命化を基本とし、複合化や集約化、既設施設の転用などの取り組み方法を用いて施設規模の適正化や維持管理を図る。



伊万里中学校校区（立花地区・大川内町・大坪地区）施設配置・計画図



大坪小学校

大坪市営住宅

大坪地区複合化施設

大坪保育園

大坪コミュニティセンター

複合化

伊万里市民図書館

伊万里中学校

伊万里市西・東駅ビル

伊万里・鍋島ギャラリー

こどもハートフルセンターひまわり園

障害者小規模作業所

シルバーワークサロイ万里

伊万里休日・夜間急患医療センター

旧保健センター（廃止）

市民交流・保育複合化施設

病後児保育施設

市民交流プラザ

複合化

同和教育集会所

市庁舎

立花市営住宅

集約化

勝田市営住宅

立花小学校

集約化

大川内小学校（統合、転用）

大川内コミュニティセンター（移転）

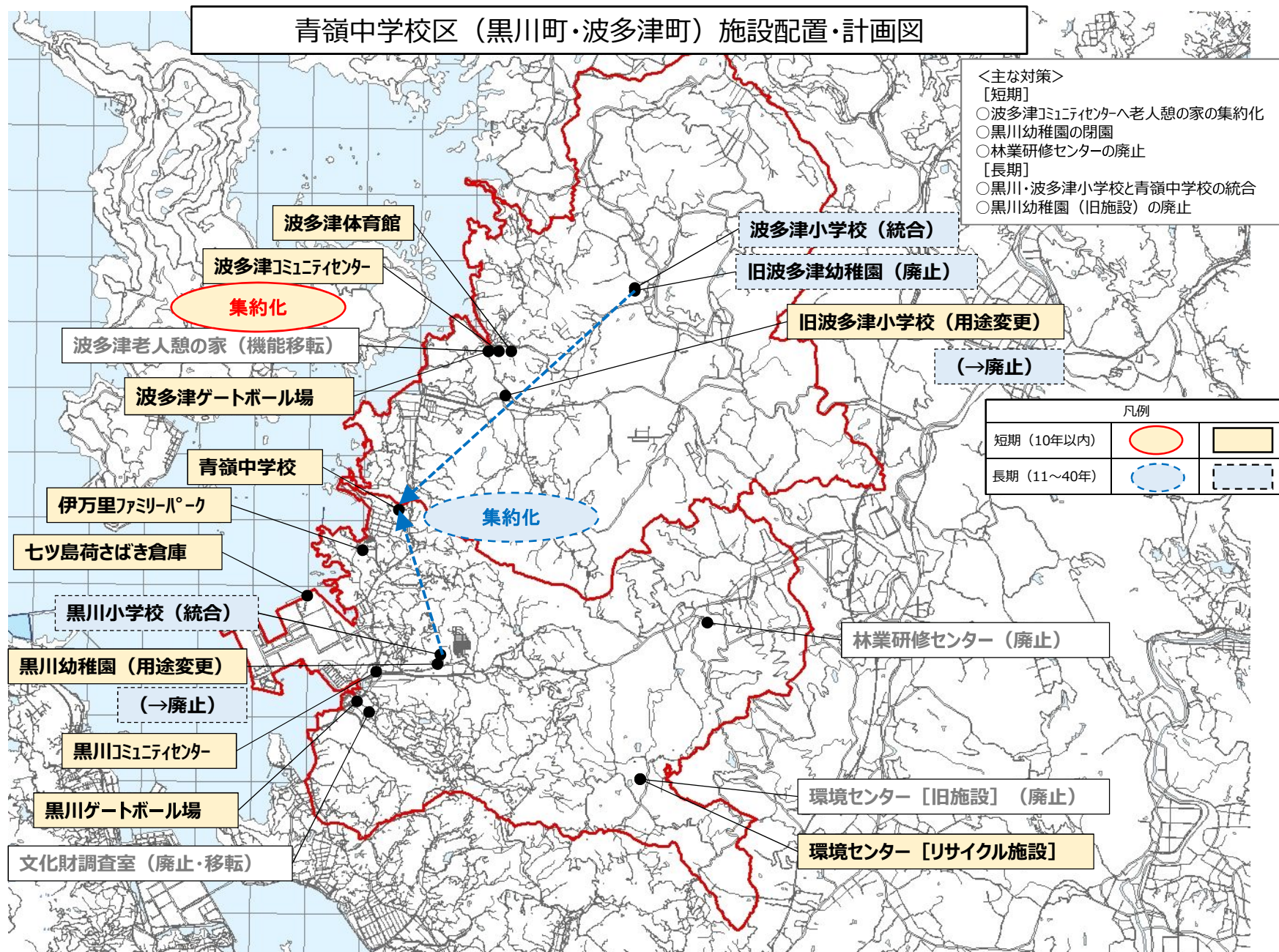
立花コミュニティセンター

伊万里・有田焼伝統会館

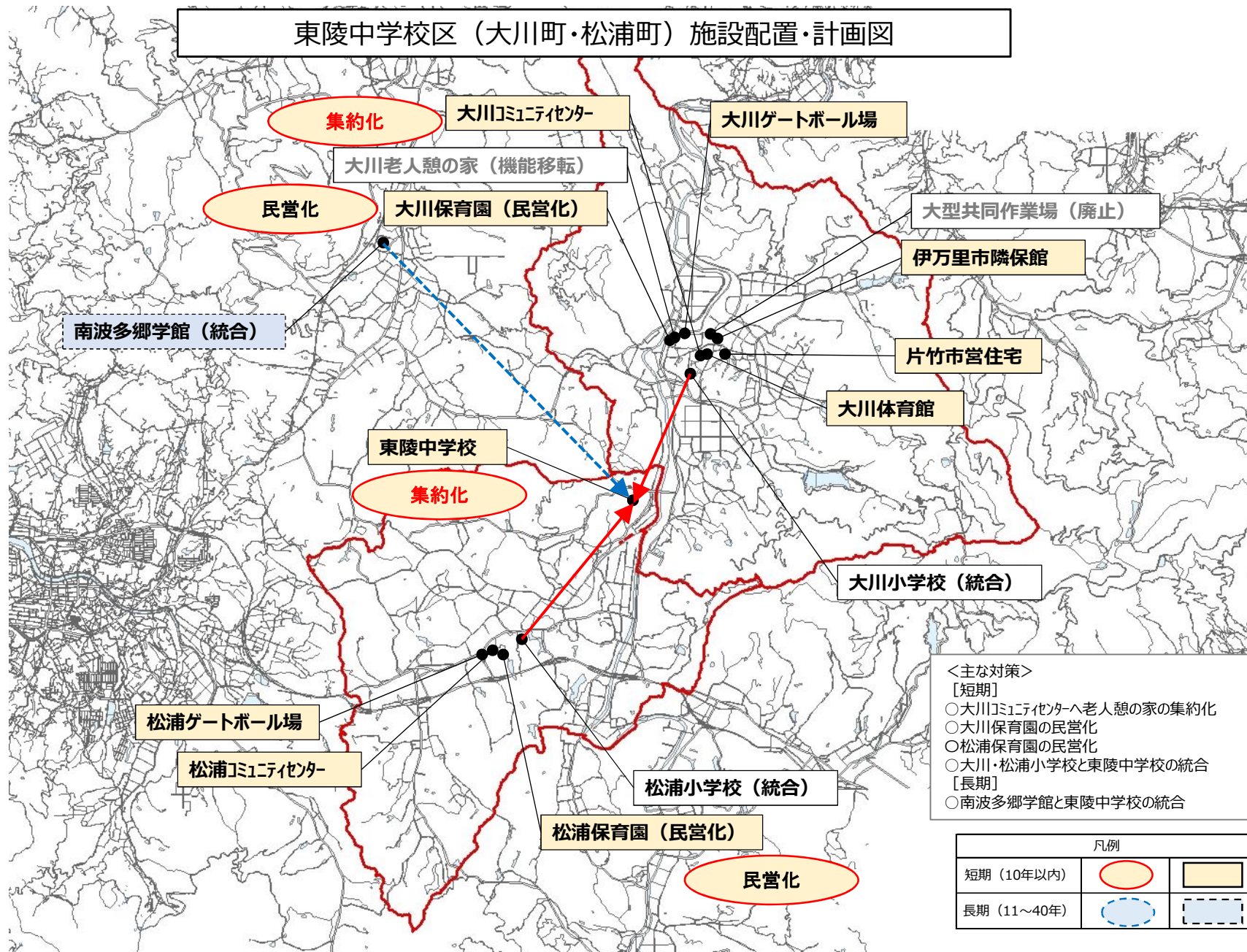
鍋島藩窯公園

木工芸センター（廃止）

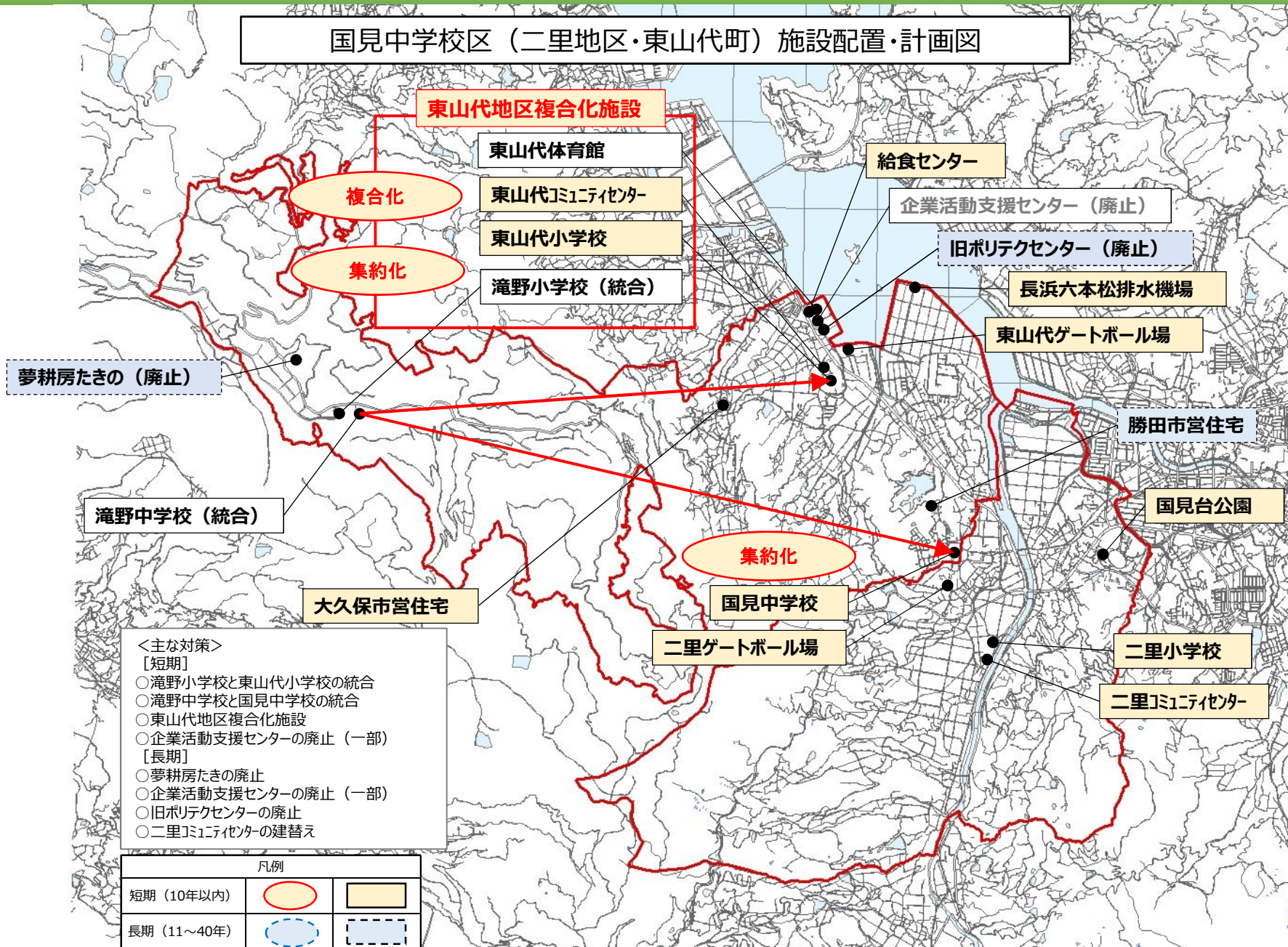
旧大川内山キャンプ場（廃止）

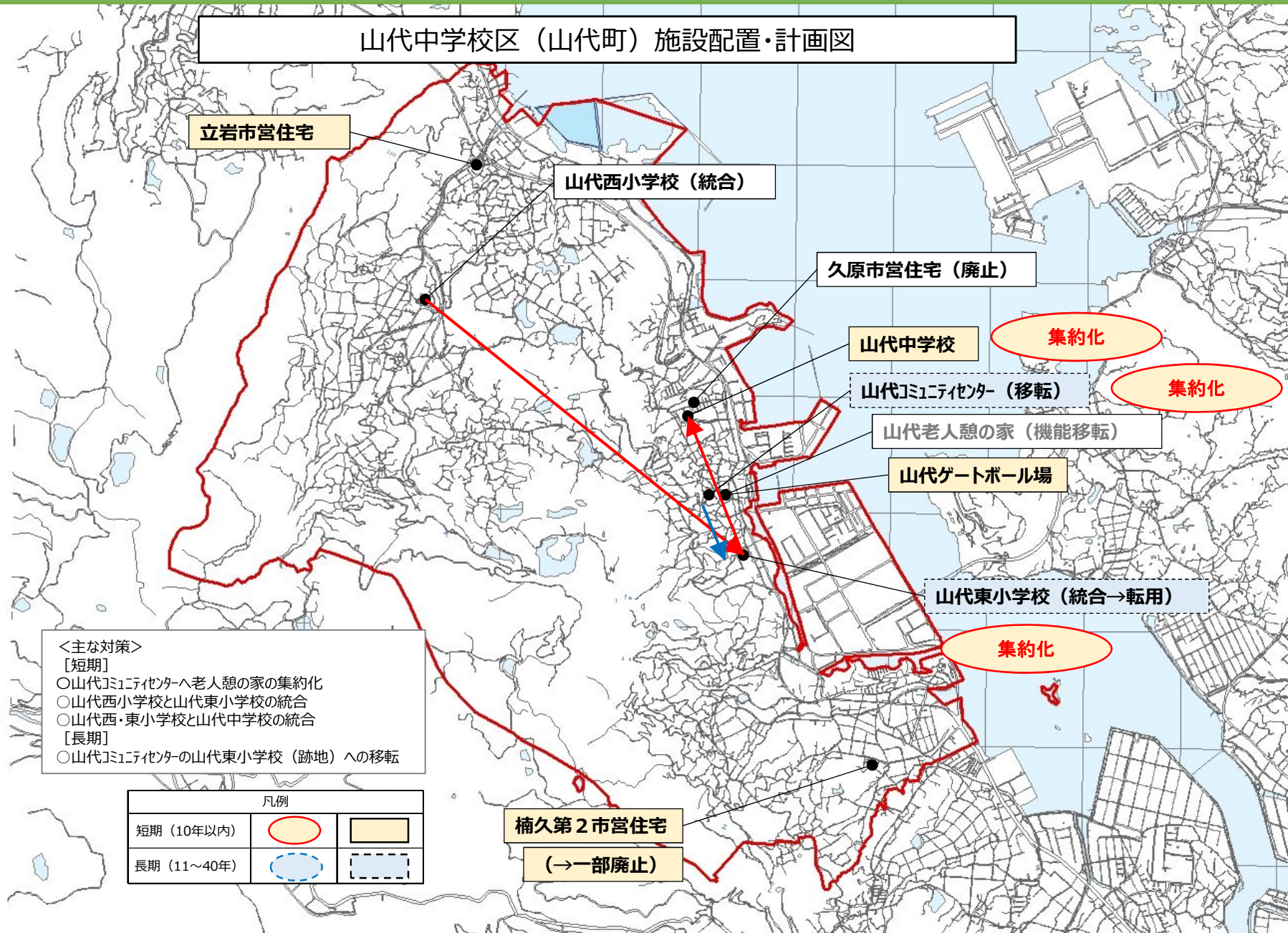






国見中学校区（二里地区・東山代町）施設配置・計画図



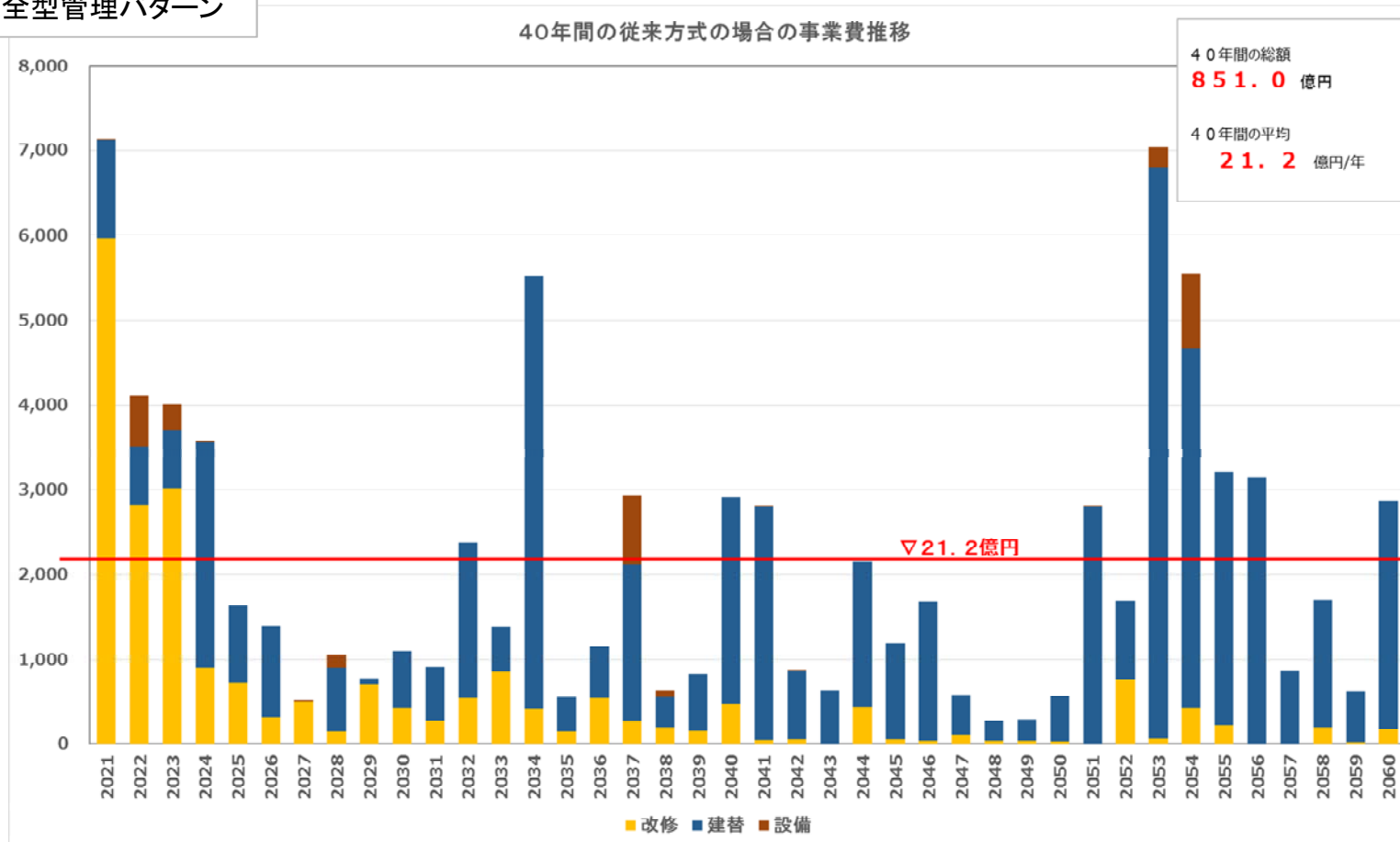


6. 【第5章】今後見込まれる施設更新・長寿命化にかかる費用

<費用の推計>

事後保全型管理パターンと予防保全型管理パターンによる更新費用推計を比較する。
 ※予防保全型管理パターンにおいては、施設の統廃合を加味した数値を採用する。

①事後保全型管理パターン

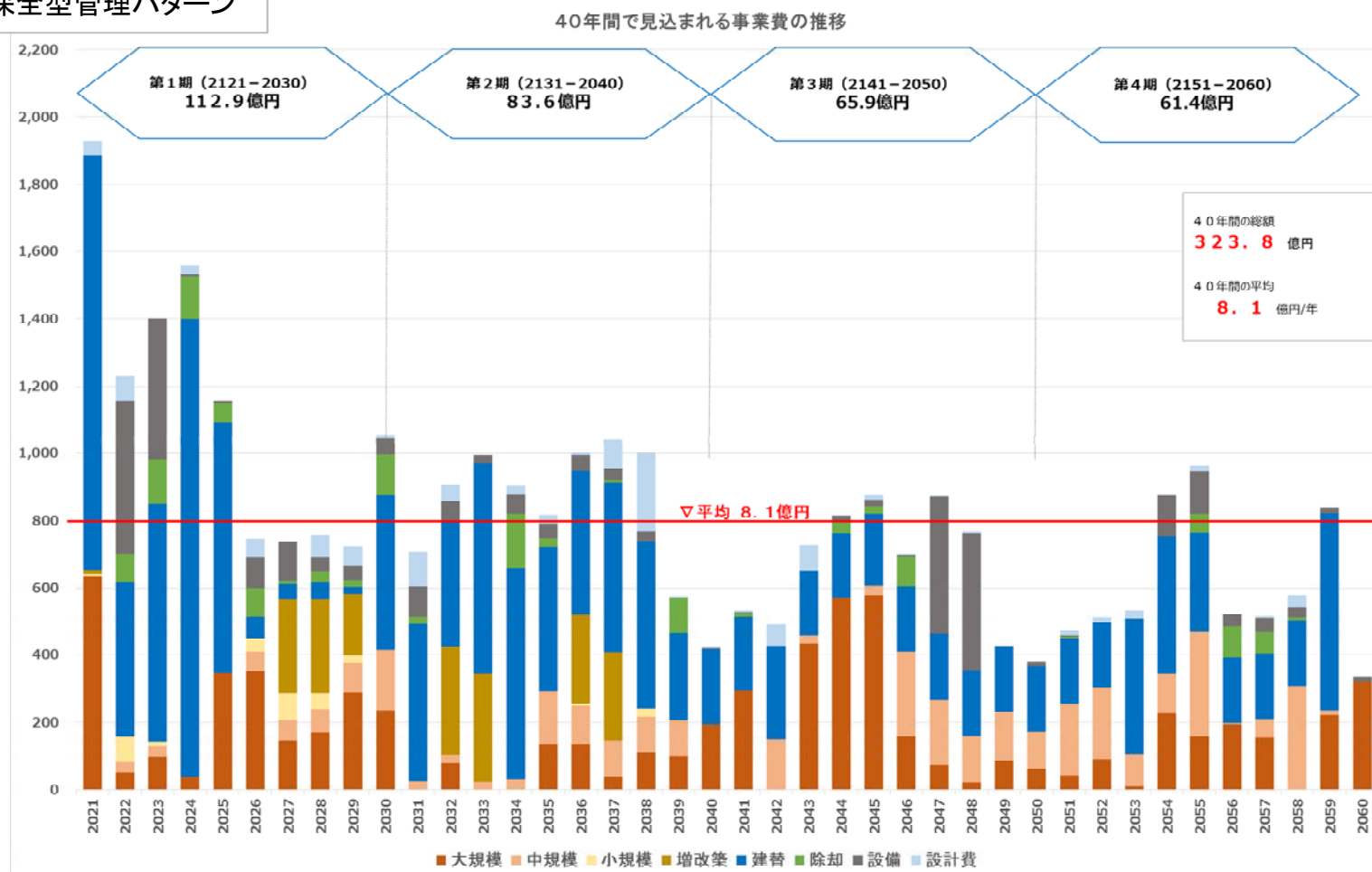


第1期 (2021-2030) 252.8億円	第2期 (2031-2040) 192.2億円	第3期 (2041-2050) 110.9億円	第4期 (2051-2060) 295.1億円
----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

<費用の推計>

事後保全型管理パターンと予防保全型管理パターンによる更新費用推計を比較する。
 ※予防保全型管理パターンにおいては、施設の統廃合を加味した数値を採用する。

②予防保全型管理パターン



予防保全型は、事後保全型と比べて、今後40年間の総額で527.2億円、年平均13.1億円の更新費用を削減できる結果となった。

パブリックコメントを実施します

期間：令和3年2月3日～3月2日

＜資料の公表場所・入手先＞

- ・伊万里市ホームページ
- ・各町（地区）コミュニティセンター
- ・市民図書館
- ・企画政策課、情報政策課